

ほっけ みち 法華道

甲斐の国と高遠を結ぶ歴史の道

甲斐の国と信州高遠を最短(全長約22km)で結ぶ道。

甲州街道から富士見町の若宮で分かれ、入笠山東斜面を登って大阿原湿原—^{ばらくち}仏平峠—^{こざつ}荊口—山室を
通って非持に至る道。道沿いには多くの古刹が並び、信濃への法華経伝来の足跡を今に伝える歴史の
道でもあったことから、「法華道」と呼ばれた。御所平峠の南には、1473(文明5)年、身延山11代日朝上
人が高座に適した岩を見つけ岩上にて従者に法を説いたといわれる「高座岩」がある。一説には、御所
平峠—^{しびら}芝平—荊口—山室への道筋も法華道と言われた。鎌倉時代、御所平峠は、高遠から芝平を通り、

富士見の鎌倉街道へ通ずる重要な峠であり、特
に武士にとっては、重要な間道(抜け道)であっ
た。南北朝時代、宗良親王が下伊那大河原(現・
大鹿村)に館を構えて、ひそかに関東武士と連絡
を取りながら、戦いの時が来るのを待っていた
時代の話である。



法華道ルート図
(背景地図等データは国土地理院の電子国土WEBシステムより提供)



法華道散策が催
され、歴史の道に
ふれる参加者
(左)と、道標(上)
(写真提供:
北原厚氏)



芝平は、約800年の歴史があったが、災害などにより集団移住したため集落はなくなった。芝平出身の有志の方が、故郷への強い思いと、子供の頃馴染んだ古道「法華道」の復興のため、一人で笹やぶを刈りつづけた。そして、10年以上をかけ古道を復活させた。



武田軍が高遠城攻略のため、ここで馬を休ませていたとされる場所

information

- アクセス
伊那ICから30km
車→1時間
- 所在地
伊那市高遠町芝平



(背景地図等データは国土地理院の電子国土WEBシステムより提供)

さくだて ていぼう
柵立堤防

天領に臆せず築いた堤防

伊那市野底は、東方から柵沢川、対岸の西方から大泉川が天竜川に合流している場所に位置しており、両支流の押し合いで天竜川の流れは安定せず、毎年のように洪水が田を荒らしていた。そのため古くから堤防を築き、壊されるたび修築し、懸命に洪水を防いでいた。高遠藩の阪本天山は1783(天明3)年に郡代に就任。藩は深刻な財政難であったが、私財もなげうち、毎日河岸に出向いて工事を監督し堤防を築いた。1808(文化5)年に川除け工事を行い、1852(嘉永5)年には大規模な柵立木工沈床工事による押出堤防を築いた。文化5年の川除けの規模は、長さ約80m、幅約2.7mで、人足17024人があたり、嘉永5年の工事には石運搬に4650人が従事したとされる、大規模で負担の大きな工事であった。対岸は天領の田畑村であり、工事の許可を得るのにも、大変な苦勞を伴った工事であった。



石碑後方の歩道から望む野底の耕地



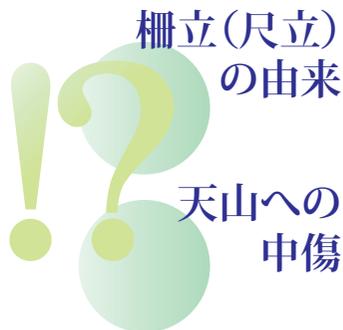
柵沢川と天竜川の合流地点に建てられた「柵立の碑」と説明看板



付近は「ふるさと農道」が開通し、明るく開けた場所となっている

information

- アクセス
伊那ICから5km
車→10分
- 所在地
伊那市野底



この堤防は、約1尺(直径30cm)もある巨木を立てならべ、これを横木で組み、水面下には二重の木枠を連続的に設置し、この中に巨石を組み込んで洗掘を防止する木工沈床で、大型の柵のようであり、柵立(尺立)堤防と呼ばれた。

天山の功績や、厳しい改革を喜ばない反対派は、天山を中傷し、藩主に訴えた。その結果、天山は郡代を免ぜられ、家禄も半減され、蟄居・幽閉を命じられた。三年後に許された天山は、56歳の高齢で長崎に移った。天山は、砲術に詳しく、博学多識であったため、平戸藩主に厚遇され、門弟の教育に従事し、59歳で亡くなった。



(背景地図等データは国土地理院の電子国土WEBシステムより提供)

隅之木碑

命を救った栗の木

与田切川は大雨のたびに氾濫を繰り返す暴れ川であった。未の満水として知られる1715（正徳5）年6月1日夜にも、与田切川が氾濫し、右岸の扇状地に位置している飯島町本郷に土石流が押し寄せた。低地に住んでいた人々は、小高い土地に立っていた周囲約6mもある通称「隅の木」とよばれた栗の大木の周りに集まり、避難して助かった。「ある者は木によじ登り、ある者は幹に抱きつき、体を寄せ合い、一人も流されることなく難を逃れた」という昔話も残っている。

その栗の木は長い間、土地の人たちに感謝されてきたが、明治時代に枯れ始めた。木の所有者が、この恩を後世に伝えるために1929（昭和4）年に建てたのが、この「隅之木碑」である。石碑は、土砂災害の恐怖と、危険を察して一刻も早く逃げる事の大切さを伝えている。



国道沿いの少し小高い畑の中に建っている石碑。背景に見えるのが伊南バイパスの与田切大橋



後世に災害の記憶を伝える石碑



(背景地図等データは国土地理院の電子国土WEBシステムより提供)

information

- アクセス
松川ICから10km
車→20分
- 所在地
飯島町本郷



隅之木碑の碑文には、「正徳五未の歳六月、一夜風雨大いに至りて与田切川氾濫す。沿岸の田家、概ね流失せり。危急の間狼狽し、人皆為すところを知らず。わずかに身を以て免れ、隅の木の陰に集いて、危難を脱するを得たり」とあり、土砂災害のおそろしさを伝えている。

北を流れる中田切川では、聖徳太子自作と言われる太子像を安置した聖徳寺の太子堂が流された。流された元の場所には「聖徳寺跡」の碑が建立されている。



聖徳寺跡の石碑



(背景地図等データは国土地理院の電子国土WEBシステムより提供)

これまでに選ばれた伊那谷遺産

- 1 うとう とうげ 善知鳥峠
- 2 ひつたら橋
- 3 牛首峠
- 4 ひがしてんりゅういっかんすいろう 東天竜一貫水路
- 5 きた さわ めがねばし 北の沢眼鏡橋
- 6 伊那路橋
- 7 (きゅう) ふかさわがわ すいりきょう (旧)深沢川水路橋
- 8 にしてんりゅうかんせん すいり えんとうぶんすいこうぐん 西天竜幹線水路 円筒分水工群
- 9 つえつとつがけ 杖突峠
- 10 しひらせつかいげん さいくつじょうあと 芝平石炭灰採掘場跡／芝平集落
- 11 きそやま ようじゆ 木曾山用水
- 12 ごんべえとつがけ 権兵衛峠
- 13 みこしば つやさぶらう い よこいでぐん 御子柴艶三郎の井／横井戸群
- 14 にしてんりゅうかんせんすいりう りゅうまつ 西天竜幹線水路 流末の階段工 (小沢のそろばん滝)
- 15 おくろ ほつでんしよ 小黒発電所
- 16 おおはし 大橋
- 17 いりふね ふなつきば 入舟船着場
- 18 たんきゅうらういおよ だんそうがい しやめんじゅりん 段丘崖及び断層崖の斜面樹林
- 19 ふるさと美鷲の水の話 (出版物)
- 20 さんよりこより
- 21 みつがわ かすみでい 三峰川の霞堤
- 22 でんべえ ごい 伝兵衛五井／三峰川流域の用水路
- 23 みずすあおしま せんじやまい 美鷲青島の千社参り
- 24 にじばし 虹橋
- 25 あきばらじょう 秋葉街道
- 26 いたやまらどう 板山露頭
- 27 みわ 美和ダム

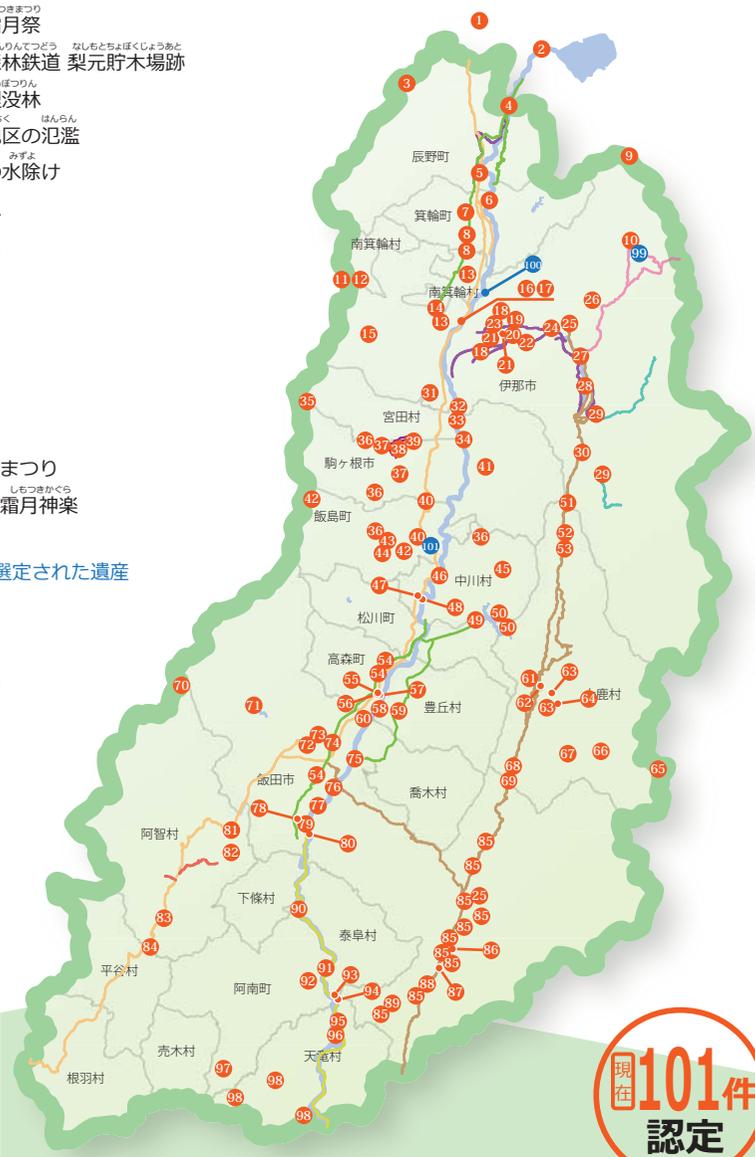
- 28 みぞくちろう 溝口露頭
- 29 けしん くろごうち しんりんでつどうあと 浦・黒河内森林鉄道跡
- 30 あわさわがわ 森 粟沢川掘り抜き
- 31 いなし すわがた ししがき 伊那市諏訪形の猪垣
- 32 きた じょうばし 北の城橋
- 33 おおくほ ほつでんしよ 大久保発電所
- 34 さかもとでんざん ごんでん ひ 阪本天山の壑田の碑
- 35 せんじょうじき 千豊敷カール
- 36 たまりちがい 田切地形／田切地形のビューポイント
- 37 おおたぎりわく いすじ 太田切川の井筋
- 38 こまがねこうげん ななめしき 駒ヶ根高原の七名石
- 39 おおたまりわがわ ほしは 太田切川 橋場礎石
- 40 いなでんしやきどう (後の伊那電気鉄道)／Ωカーブ
- 41 だくりゅう こ いなだにさいがい 濁流の子～伊那谷災害の記録 (出版物)
- 42 ひやっけん 百間ナギ／百間ナギのビューポイント
- 43 せんじんつこうえん じょうがけ 千人塚公園 城ヶ池
- 44 ひなたさわ さほらうえんてい 日向沢砂防堰堤
- 45 しよく しゅうらくあと 四徳集落跡
- 46 さかど 坂戸橋
- 47 おしち みずよ 志茂の水除け
- 48 りへえ ていぼろ 理兵衛堤防
- 49 こしやま 小洪ダム
- 50 たきさわ うるしがくほ しゅうらくあと 滝沢、漆ヶ久保集落跡
- 51 ぶんかづ 分杭峠
- 52 きたがわ ろどう 北川露頭
- 53 またがわしゅうらくあと 北川集落跡
- 54 りゅうさい いっかんすいりう 竜西一貫水路

- 55 さんかいはんれいとう ろくじぞう 三界萬霊塔／六地藏
- 56 よし じぞう 夜泣き地藏／出砂原の大石
- 57 そらべえ ていぼろ 惣兵衛堤防
- 58 ともの ていぼろ 伴野堤防
- 59 りゅうとういっかん すいりう 竜東一貫水路
- 60 さこうじ いんかむよけ 座光寺石川除
- 61 おおにしやま ほうろかいち 大西山崩壊地
- 62 こしほ ばし 小洪橋
- 63 とびがす だいらうかいち 鷹ヶ巣大崩壊地／鷹ヶ巣大崩壊地のビューポイント
- 64 いわ ざほらうえんてい 上蔵砂防堰堤
- 65 あらわ だいらうかいち 荒川大崩壊地
- 66 ななめ ざほらうえんてい 七釜砂防堰堤
- 67 まえちやうす 前茶臼ナギ
- 68 あんこうらう 安康露頭
- 69 だにせき 地藏峠
- 70 おおだいらとつがけ 大平峠
- 71 まつたわい いち ほつでんしよあと 松川第一発電所跡
- 72 まつたわい 松川プール跡
- 73 みなほらばし めがね橋 (長姫橋)
- 74 あなほらばし 夜泣き石
- 75 かわらべんてん うし わ べんてん 河原弁天 (後ろ向き弁天)
- 76 あなほらばし 南原橋
- 77 としまた 時又港
- 78 かわしめさと かおく いてん きねんひ 川路郷家屋移転記念碑
- 79 さくろくさい さいにうすいりいりょう 三六災最高水位標
- 80 こやま 姑射橋
- 81 なかの ばし 中之橋
- 82 おんだ 恩田井水
- 83 いな かいどう (三州街道) 伊那街道
- 84 じぶさか とつがけ 治部坂峠

- 85 とおやま しちつきまつり 遠山の霜月祭
- 86 とおやま しんりんでつどう なしめとちほくじょうあと 遠山の森林鉄道 梨元貯木場跡
- 87 とおやま まいぼつたん 遠山の埋没林
- 88 やがわせ ちく はんらん 夜川瀬地区の氾濫
- 89 なごやま みずよ 名古山の水除け
- 90 たいら 泰阜ダム
- 91 なんぐわう おおはし 南宮大橋
- 92 ふかみ いけ 深見池
- 93 さんしん てつどう 三信鉄道
- 94 てんりゅうばし 天竜橋
- 95 はごろもざきばし 羽衣崎橋
- 96 ひらおか 平岡ダム
- 97 にいの ゆき 新野の雪まつり
- 98 てんりゅうわら しちつきかから 天龍村の霜月神楽

H26 年度に選定された遺産

- 99 ほっけあち 法華道
- 100 さくだてていぼろ 柵立堤防
- 101 すみのき 隅之木碑



現在 101件 認定